

## 9) 口内地区 (口内町自治協議会)



農村地帯ですが、専業農家は少なく誘致企業への就業が大半で兼業主体の農業となっています。近年、環境に優しい農業により、口内川や小川にホタルの乱舞が見られます。また、町のシンボルである愛宕山、歴史的財産として藩境の要害地・浮牛城址があります。平成19年より大名行列をメインとした口内最大のイベント「浮牛城まつり」を毎年8月に開催し、地域コミュニティの醸成と口内のPRを行っています。

### ●地域の将来像

#### 『 町民一家族 ホットなくちない 』

- ・地域の良き風習・文化・伝統を継承し民俗芸能の伝承に努め潤いのある町づくりを進めます。
- ・美味しい米、リンゴの産地として誇りを持ち、安心・安全な農産物や特産品づくりと、家族が健康で働き生き生きとした元気で活気のある町づくりを展開します。
- ・豊かな自然を活かし環境に配慮した活動に取り組み、笑顔あふれ交流盛んなだれもが住みたい町づくりを目指します。

### ●地域の現状

#### 1. 位置等 (地区の概況)

口内地区は、市の東部に位置する盆地の農村地帯です。東西に国道107号線、南北に456号線が走り交通の要衝であります。また、口内川が国道456号線沿いに南流し北上川に注ぐ広瀬川へ合流します。

#### 2. 人口

平成8年2,234人(65歳以上601人)が平成26年1,649人(65歳以上661人)と人口減少が顕著、高齢化率が高まっております。

#### 3. 公共施設と活動状況

地区の中心部に市立の口内小学校及び口内保育園、口内地区交流センター、口内郵便局があります。地場産業も数社あり地元雇用の一助となっています。

### ●地域の課題

#### 1. 少子高齢化の進行

(地域コミュニティ維持への支障)

- (1) 子供が少なく高齢化が進み、人口の減少に歯止めがかからない状況にあります。
- (2) 地域の若い人材が活動できる場が少なく意見が埋もれています。
- (3) 就労する事業所が少なく町外に暮らす若者が少なくありません。
- (4) 町民の生活における困りごとに対応しきれいていません。

#### 2. 生活基盤整備の現状 (インフラの遅れ)

- (1) 国道・県道・市道や生活道路及び河川を整備するところがあります。(歩道、中州)
- (2) 町の中心部以外の地域では、家庭の雑排水処理に苦慮しています。(低い下水道普及率)
- (3) ごみの不法投棄があとを絶たない状況にあります。
- (4) 農業基盤が整備されていない場所があります。
- (5) 特産品の開発に対応する施設が十分ではありません。

#### 3. 地域の魅力発信 (地域資源の活用策)

- (1) 増加する空き家や空き地をうまく活用できていません。
- (2) 地域の文化や風習が途絶えてきています。
- (3) 里山、歴史的財産及び神社・仏閣、名所・名跡等が生かされておられません。

- (4) 誇るべき豊かな自然資源に手がかからず荒れております。
- (5) 地域の活動が町民及び町外にうまくPRできていません。

- ④米、リンゴ、桜、豚、牛など地域の農産物、畜産物をPRします。
- ⑤水田の土地改良および区画整理に取り組みます。

## ●地域づくりのプラン

### ☆主要事業

#### 1. 人が華やぐまち 【元気な活動】

- ①若者が集まれるようなイベントや講座を開催し、若者が地域に入ってきやすいような環境をつくりまします。
- ②結婚に結びつくような出会いの場の提供のほか、仲人の発掘と養成を行います。
- ③企業や大学、地域の人材が持っている技術との交流を行います。
- ④何歳になっても健康でいられるような環境づくりと事業を展開します。
- ⑤インターネット等を活用し、全国へ口内町の活動をPRします。
- ⑥定住化につながるよう町出身者とのつながりを深め、Uターン、Iターンを促進します。

#### 2. 住みよいまち 【生活環境整備】

- ①町民ボランティア輸送を推進し、子供から高齢者まで交通手段の確保に努めます。
- ②空き家、空き地の情報を集約し、転入希望者への提供や活用方法の検討を行います。
- ③高齢者の見守り、生活の困りごとの解決など福祉の充実に努めます。
- ④自主防災、交通安全、防犯活動を推進し、安心して暮らせるまちを目指します。
- ⑤下水道整備として合併浄化槽の普及と推進に努めます。
- ⑥ゴミ分別の徹底、ゴミのポイ捨て禁止運動、不法投棄対策をより一層進めていきます。

#### 3. 産業で実るまち 【農林産業振興】

- ①地域性を前面に出した農業の推進や特産品の開発に努めるとともに新たな作物の導入を検討します。
- ②農産物の加工施設建設に努めます。また、六次産業や加工技術について学びます。
- ③里山資源を活用して再生可能エネルギーの研究や導入を行い、産業化を目指します。

#### 4. 郷土の歴史をつなぐまち

##### 【歴史・文化財産の活用】

- ①歴史財産「浮牛城址」の将来像を検討しそれに基ついた環境整備を進めます。
- ②地域の名所や名跡の管理や、散策ルートの整備を行います。
- ③口内の歴史・特産品・文化・風習を学ぶ講座（口内傘復活研究講座、郷土学講座など）を開催や資料の整備を行うほか、その伝承活動も行います。
- ④地域の歴史財産を活用したイベント「浮牛城まつり」を実施します。

#### 5. 四季を楽しむまち 【自然の活用】

- ①星空・水辺・山・田畑など、周囲が自然に囲まれた環境を生かした学習や交流の場づくりに努めます。
- ②町内に桜を植樹し人の集まる場をつくるほか、町内桜マップを作成します。